

---

# 新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の経営環境は、年初の海外経済の回復とそれに伴う輸出の増加、国内の在庫調整の進展によって、一時的に持ち直しの兆しが見えました。しかし、後半からは米国経済の減速懸念や株式市場の急落などの影響が表れ、経済指標も悪化しています。富士電機の事業におきましても、民間設備投資の低迷、公共事業投資削減の影響、情報関連業種の不振により物量が減少し、大変厳しい状況にあります。

しかしながら、技術面では情報通信の技術開発やインフラストラクチャーの強化は着実に進んでおり、今後より洗練されたビジネスモデルの創生とともに情報通信ビジネスも再び伸長してくることは間違いありません。各種コンポーネントのシステム化、サービスビジネス化の流れは今後も加速して進行すると考えられます。一方、地球環境に対する負荷軽減への要求がますます強くなってきており、当社としても技術面での大きなテーマになってきています。

このような中で、富士電機は中期経営ビジョン「S21プラン」に掲げる「業界最強の専業」事業の集合体の実現に向け、回転機事業、変電事業、自動販売機事業をはじめとして抜本的な事業構造改革を推し進めるとともに、お客様に満足していただける製品、サービスを提供し続ける努力を行っております。つま

り、パワー半導体およびパワーエレクトロニクス製品、低圧開閉機器、自動販売機、水処理事業など、現在の柱となっている事業をより強化拡大し、新たに情報・環境・サービス・特徴あるコンポーネント分野を事業の柱にすべく強化を図っております。

こうした攻めの施策に基づき、研究開発に対しては、圧倒的な競争優位性、独創性ととも、研究開発のスピードアップと成果の早期事業化を進めてまいりました。また、研究開発投資については、柱となる事業分野に重点的に資源を投入してきております。本号では、2002年に成果をあげた主要な技術開発、製品開発の紹介をさせていただいております。

情報システム分野では、地方自治体・公共団体・民間企業向けに情報技術を活用したソリューションを提供すべく開発を続けております。自治体向けには、行政情報ソリューションとして文書管理システムで多くの実績を積み上げており、公共団体向けには、環境・福祉医療・防災・教育などの地域情報システムの構築を行っております。民間企業向けには、製造業を中心とした各種ソリューションの開発を進めております。デジタルファクトリーソリューションの一つとして、設計・製造ノウハウを有効に蓄積・活用できる情報システムを開発しました。また、ビルオートメーション分野で適用が進んでいる LONWORKS に関してエシエロン社とパートナーシップ契約を結び、施設管理、エネルギー管理などの分野へも展開を図りました。



環境分野では、水処理ソリューションとして監視制御システムの高度化、オゾン利用技術、膜処理技術などの開発を推進しています。環境ソリューションでは、廃棄物処理技術の開発に取り組んでいます。下水浄化設備において国内初の商用運転となる、下水汚泥消化ガスを利用した燃料電池発電システムを納入しました。

サービス事業分野では、産業プラントを対象に設備やプラントのライフサイクルコスト低減や信頼性向上に取り組んでいます。サービスソリューション分野では、コールセンター構築、施設管理情報のオンライン提供など新規サービスの提供を開始しました。

パワーエレクトロニクス製品としては、電気鉄道地上システム用の無効電力調整装置、在来線車両用補助電源装置、近郊型電車のリニアドアシステムなどの開発を行いました。

システム機器分野では、市場のグローバル化と機器のネットワーク化に対応し、国際規格対応やシステム化の製品開発を進めています。高性能ベクトルインバータ FRENIC5000VG7S シリーズは、PROFIBUS-DP、DeviceNet など 6 種類の標準フィールドバスへの対応を行い、汎用インバータではコンパクト型の FRENIC-Mini シリーズを製品化しました。器具では、グローバル対応したマニュアルモータスタータの製品化を行いました。プログラマブルコントローラでは、IEC 規格準拠の MICREX-SX に小型ブロックタイプの SPB シリーズを追加いたしました。

情報機器関連コンポーネントでは、3.5 インチ 80 G バイト/枚の磁気記録媒体を製品化しました。開発レベルでは、垂直磁気記録技術の適用により 140 G ビット/in<sup>2</sup> の高密度記録が可能であることを確認しました。

電子デバイスでは、高耐圧、低消費電力化とインテリジェント化に着目した開発を進めております。IC 分野では、電子機器の待機電力削減に最適な起動素子内蔵型の AC-DC 電源 IC、新構造 IGBT を採用したプラズマディスプレイパネル用第三世代スキンドライバ IC などを開発しました。パワーデバイス分野では、従来製品に比べ大幅な損失低減を達成し小型化した第五世代 IGBT モジュール「U シリーズ」の系列化を行いました。新パワーデバイスとして逆方向耐圧を有する逆阻止 IGBT の開発も進めております。

流通関連分野では、自動販売機事業の強化のため、業界第二位の三洋電機自販機(株)との事業統合を行いました。自動販売機に関しては、高機能化、省エネルギー、ネットワーク化などの開発を推進し、エスプレッソコーヒーマシン対応カップ自動販売機を製品化しました。通貨・カード関連機器では、電子マネーの Edy カードに対応したリーダ・ライタ、決済端末の品ぞろえを充実させました。

富士電機は独創的な技術に積極的に取り組み、お客様のご期待に応え、最大の満足を提供できるよう今後とも全力で研鑽に励んでまいります。皆様のご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

# 沢 邦彦

取締役社長